

## 第6章 中期ビジョンの実現に向けて

### 1. 進行管理

余市町下水道中期ビジョンの実現に向けて、計画期間が令和4年度（2022年度）～令和13年度（2031年度）までの事業計画として、実施スケジュールを策定します。

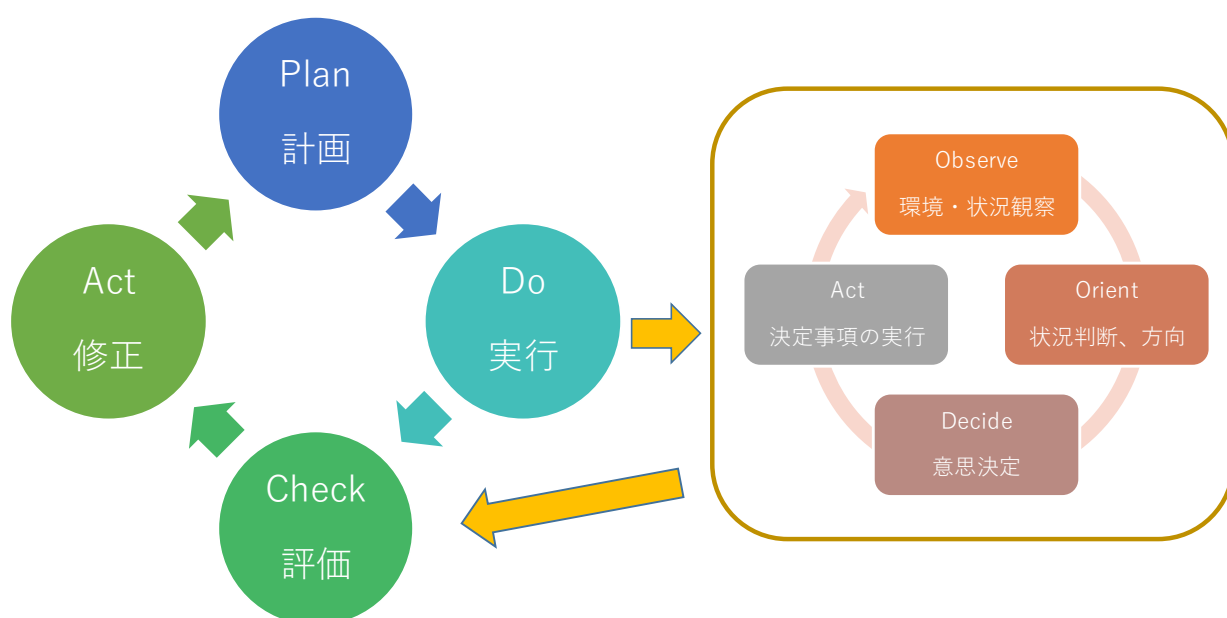
進行管理として、前期と後期に区分し、各取組内容の振返りを行い、必要に応じた見直しを図ります。

基本理念		未来に向けて住みよいまちづくりを支える持続可能な下水道											
3つの基本方針		中期ビジョン【R4（2022）～R13（2031）】										備考	
6つの取組の方向性	10の取組内容	前期 【R4（2022）～ R8（2026）】					後期 【R9（2027）～ R13（2031）】						
		1 まちづくり に貢献する 快適な 下水道	①最適な下水道計画										
	・定期的な計画の見直し												
	・未普及解消												
	②水洗化の促進（水質保全）												
	・広報等による啓発活動												重点的に 取組む
	③災害に強い下水道施設の構築												
	・雨水対策												
	・地震対策												重点的に 取組む
2 と機能 向上 維持 可能な 下水道	④下水道機能の維持・向上												
	・下水道施設の維持管理												
	・下水道改築・更新												重点的に 取組む
3 道と 経営 安定 した 下水道	⑤経営の健全化												
	・収入の確保と支出の抑制												重点的に 取組む
	・適正な使用料の検討												
	⑥下水道の見える化												
	・効率的な情報発信												

凡例			
重点的に取組むもの	→	確実に取組むもの	→
		継続して取組むもの	→

## 2. 点検・見直し

下水道中期ビジョンに基づいた施策を展開するために、PDCAサイクルを構築し、OODAループを用いて効果的な計画へ見直しを行い、事業の継続的な改善に努めていきます。具体的には、前期計画期間年度（令和8年度（2026年度））に取組の方向性や取組内容について検証を行い、必要に応じて見直しを図り、後期計画（令和9年度（2027年度）以降）に反映させることとします。



PDCAサイクルとは、サイクルを構成する4段階の頭文字を繋げたものです。

- ・ Plan（計画） 従来の実施や将来の予測等を基にして計画を策定する。
- ・ Do（実行） 計画に沿って業務を行う。
- ・ Check（評価） 業務の実施が計画に沿っているかどうかを評価する。
- ・ Act（修正・改善） 実施が計画に沿っていない部分を調べて改善する。

この4段階を順次行い、1周したら最後のActを次のPDCAサイクルに繋げ、一周ごとに各段階のレベルを向上させて継続的に業務を改善する仕組みを示します

OODAループとは、刻一刻と変化する状況で成果を得るために使われるフレームワーク。「PDCA」と比べて状況への対応性に優れており、変化の速い近年の環境に対応する手法である。

・ Observe （観察＝みる）

情勢や現場で発生した事象を現場担当者が観察し、データや情報を収集する。このとき、現状を客観的に観察し、結論ありきのデータ収集にしない。

・ Orient （状況判断、方向付け＝わかる）

Observe で収集した情報を分析して、現在どのような状況で起きているか理解し、次の行動の方向性を考える。方向性は、現状から良い結果につなげられないか考える。

・ Decide （意思決定＝きめる）

Orient で考えた方向性にそってどういった行動を取るのか、具体的に決める。現状が変化しないうちに打てる手段を考え決定する。また、「最善と思える行動を即座にとって最大限の効果を」という思考で Decide する。

・ Act （実行＝動く）

実際に行動するとともに次回ループの Observe もする。（「行動」することで「結果」という名の「状況変化」がおこるため）